



Title	独文学報 第38号 編集後記/奥付
Author(s)	
Citation	独文学報. 2022, 38
Version Type	VoR
URL	<a href="https://hdl.handle.net/11094/103078">https://hdl.handle.net/11094/103078</a>
rights	
Note	

*The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

## 編集後記

私が大学を卒業した1986年から、この編集後記を書いている2023年までのあいだに、人文学のありかたは大きく変化しています。資料の収集から論文の公開まで、人文学もまたデジタル化の波のなかで新しいスタイルを模索してきました。しかし、最も大きな変化は、「哲史文」といった伝統的な学問分野の境界が揺らぎを見せ、複数の分野が重なり合う研究領域が増加したことではないでしょうか。今回本誌に掲載された3つの論文も、こうした動向を反映して、科学論、政治学、思想史といった分野との対話の中で、文学や文化についての考察を展開しています。他方で書評では文学研究の伝統を大切にしつつ、時代の変化に答えようとする論集が取り上げられています。どちらの方向も必要だと思いますが、若い研究者にはぜひ1つの分野をじっくりと掘り下げていき、その限界／境界にたどり着いたときにはじめて学問的越境を試みてほしいと願っています。

第38号は、私が夏休み前の期間、編集の仕事に力を注ぐことができなかつたために、刊行が大幅に遅延してしまいました。こころよりお詫び申し上げます。

(葉柳)

## 編集委員会

三谷研爾 山本鉄平 小松紀子 葉柳和則

### 学会誌投稿規定

1. 大阪大学ドイツ文学会会員であることを、本誌への投稿資格とする。ただし、編集委員会が特別に、非会員に原稿を依頼することがある。
2. 投稿原稿の内容は、ドイツ語圏の言語、芸術、文化に関する論文、研究ノート、書評などとする。
3. 投稿原稿の採否は、編集委員会の審査に基づいて決定する。
4. 論文は注を含めて20000字程度以内とし、これに欧文要旨を添える。研究ノート、書評などは、8000字程度以内とする。原稿の書式の詳細については、執筆要領を別に定める。
5. 投稿希望者は、予定題目とその概要（800字程度）を、毎年1月10日までに編集委員会宛て文書で申し込む。完成原稿の提出締切は、毎年5月10日とする。

---

# 独文学報

第38号 2022年11月1日 発行

編集・発行 大阪大学ドイツ文学会  
〒560-8532 豊中市待兼山町1番5号  
大阪大学大学院人文学研究科ドイツ文学研究室  
電話 06-6850-5116

デザイン 西田優子  
組版 松本工房  
〒534-0026 大阪市都島区網島町12-11 雅叙園ハイツ1010号室  
電話 06-6356-7701

ISSN 0911-811X